教　科　国 語　　科　目　国 語

授業科目	国語	単位数	３単位	履修形態	必修　・　選択
履修学年	中学１年生	コース			
教科書	国語１（光村出版）	副教材	国語のワーク・漢字スキル		
授業概要	知識及び技能…事象や行為、心情を表す語句の知識を増やし、辞書的意味と文脈上の意味との関係に注意して使い、語感を磨き、語彙を豊かにする。 表現技法や、単語の類別、指示語や接続語を理解し、活用する。 思考力・判断力・表現力等…必要に応じて記録や質問をして話の内容や展開を捉え、互いの発言を結び付けて自分の考えをまとめる。 事実と意見などの関係に注意して話の構成を考え、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。				

授業内容および到達目標

	単　元	目　　標	教　材
1学期	学びをひらく	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写に着目して内容を読み取る。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを活用する。	シンシュン 情報を整理して書こう
1学期	新しい視点で	段落の役割に着目しながら、事実と意見を読み分け、文章の内容を捉える。 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。 話の構成や順序を工夫し、自分の伝えたいことを整理する。	ダイコンは大きな根？ 好きなことをスピーチで紹介しよう 他
1学期	言葉に立ち止まる	詩の表現の特徴を捉えて読み、情景を想像する。 言葉にはどのような力があるのかを読み取り、言葉について考えを深める。	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界　他
2学期	心の動き	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写に着目して読み、自分の考えを持つ。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを活用する。	大人になれなかった弟たちに 項目を立てて書こう　他
2学期	いにしえの心に触れる	語句に注意しながら、現代文と古文の異なる部分を確かめ、古典の文章の特徴を知る。 故事成語の由来と意味を理解する。	蓬莱の玉の枝 今に生きる言葉 他
2学期	価値を見いだす	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する。 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言を踏まえて、自分の文章の良い点や改善点を見いだす。	「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 他
3学期	自分を見つめる	場面の展開や人物の描写に注意して作品を読み、 登場人物の心情の移り変わりを捉える。 言葉の並べ方の工夫や比喩について理解する。 伝えたい自分の考えや気持ちを、相手や目的を考えて書く。	少年の日の思い出 構成や描写を工夫して書こう さまざまな表現技法 他

教　科　書写　　科　目　書写

授業科目	国語	単位数	１単位	履修形態	必修　・　選択
履修学年	中学１年生	コース			
教科書	中学書写（東京書籍）		副教材		
授業概要	「文字を書くこと」の基礎基本とその応用を学習する。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	小学校の学習を振り返ろう	・用具用材の置き方・名称を知る。 ・正しい姿勢と持ち方、用具の使い方を学ぶ。 ・筆、墨、硯、紙について知る。 ・字形と配列を整える書き方 ・基本点画を確かめ、書く。 ・筆使いと字形を理解して書く。 ・字形の整え方と筆順の決まりを理解して書く。	教科書 ｐ２～１３
	2学期	楷書の書き方を確かめよう	・点画の書き方と字形の整え方を理解して書く。 ・仮名の書き方や字形の特徴を学び、書く。 ・文字の大きさと配列を整えて書く。 ・情報を整理して分かりやすく書く。 ・文字の成り立ちと移り変わりを学ぶ。	教科書 ｐ１４～２９
	3学期	行書で書いてみよう	・楷書と行書の違いを学ぶ。 ・点画の連続について、書く動きと連続の仕方を理解して書く。 ・点画の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書く。 ・これまで学習してきた行書の特徴を振り返って書く。	教科書 ｐ３０～４８

教　科　　社会　　科　目　地理

授業科目	地理	単位数	３単位	履修形態	必修
履修学年	中学１年	コース			
教科書	東京書籍		副教材	資料集・ワーク	
授業概要					

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	１学期	第１編 世界のさまざまな地域	世界各地の人々の生活と環境を理解する。	教科書 資料集 ワーク
			世界の諸地域（アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州）について学習する。	教科書 資料集 ワーク
	２学期	第１編 世界のさまざまな地域	世界の諸地域（北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州）について学習する。	教科書 資料集 ワーク
		第２編 日本のさまざまな地域	世界から見た日本の姿について学習する。 日本の自然環境・人口・資源とエネルギー・世界との結びつきについて学習する。	教科書 資料集 ワーク
	３学期		日本の諸地域について理解を深める。 九州地方・中国四国地方・近畿地方・中部地方について学習する。	教科書 資料集 ワーク
			関東地方・東北地方・北海道地方について学習する。 日本全体をながめて	教科書 資料集 ワーク

教　科　　数学　　科　目　　数学１

授業科目	数学１	単位数	４単位	履修形態	必修・　選択
履修学年	中学１年	コース			
教科書	日本文教出版　数学１	副教材	数学の問題ノート１(新学社)		
授業概要	小学校で学んだ式や計算を発展させ、中学校における基礎的な知識を習得するとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにしましょう。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	一学期	正の数 負の数	①正の数と負の数の必要性と意味を理解することができる。 ②小学校で学習した数の四則計算と関連付けて，正の数と負の数の四則計算をする。 ③正の数と負の数の四則の混じった計算をする。 ④具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理する。 ⑤数の集合の広がりを四則計算の可能性に関連付けて理解することができる。	
		文字式	①文字を用いることの必要性と意味を理解することができる。 ②文字を用いた式における乗法と除法の表し方を理解する。 ③1 次式と数の乗法と除法や，簡単な１次式どうしの加法と減法を計算する。 ④数量の関係を，文字を用いた式に表すことができることを理解する。	
		１次 方程式	①方程式や不等式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解する。 ②等式の性質を基にして，方程式が解けることを理解する。 ③簡単な１元１次方程式や比例式を解くことができる。 ④1 元１次方程式を具体的な場面で活用することができる。	
	二学期	比例と 反比例	①関数関係の意味を理解することができる。 ②比例，反比例の意味を理解することができる。 ③座標の意味を理解することができる。 ④比例，反比例を表，式，グラフなどで表し，それらの特徴を理解する。 ⑤比例，反比例を用いて具体的な事象をとらえ説明することができる。	
		平面 図形	①直線や角，円などに関する平面図形の基本的な性質や用語・記号を理解する。 ②平行移動，回転移動及び対称移動について理解し，2 つの図形の関係を調べる。 ③線分の垂直二等分線，垂線，角の二等分線などの基本的な作図ができる。	
		空間 図形	①基本的な立体の特徴や，空間における直線や平面の位置関係について理解する。 ②空間図形を平面図形の運動によって構成されるものととらえたり，空間図形を平面上に表現してそこから空間図形の性質を読み取ることができる。 ③基本的な柱体，錐体及び球の表面積と体積を求めることができる。	
	三学期	資料の 活用	①ヒストグラムや代表値，相対度数などの必要性と意味を理解することができる。 ②ヒストグラムや代表値などを用いて資料の傾向をとらえ説明することができる。 ③誤差の意味や近似値及び有効数字の意味や表し方について理解することができる。	

教　科　　理　科　　科　目　理　科

授業科目	理科	単位数	3　単位	履修形態	(必修)・　選択
履修学年	中学１　　年	コース			
教科書	大日本図書　理科の世界　１年		副教材	Winning 理科１	
授業概要	小学校で学んだ理科の知識をもとに、実験・実習・視聴覚資料を活用して勉強をしていきます。自然現象や身近な生き物により強い関心が持てるようになります。また、自然環境の大切さを学びながら、自然保護活動にも力を入れます。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	単元１ 生物の世界	校内の自然を観察しながら、植物について学びます。	タンポポ ｵｵｶﾅﾀﾞﾓ
	2学期	単元 2 物質のすがた	演示実験や生徒自身の実験によって、様々な現象について学びます。	ビデオ、DVD を利用する
		単元３ 身近な物理現象	身のまわりの物質について、実験を多く取り入れながら、学びます。	プリントを利用する
	3学期	単元４ 大地の変化	地球の成り立ちや地震現象について学びます。	プリントを利用する

教　科　保健体育　　科　目

授業科目	保健体育	単位数	３単位	履修形態	○必修　・　選択
履修学年	中学１年	コース			
教科書	最新中学校保健体育（大修館書店）		副教材	最新中学校保健体育ノート（大修館書店）	
授業概要	各種の運動の特性に応じた学びかたや安全の確保のしかたについて理解するとともに、自己の能力を高め、からだを動かす楽しさを味わうことができるように学習する。 色々な競技（種目）を体験し、基本的なルールを理解させ、個人技術を高めていく。 保健分野では、中学生期における身体機能の発達、健康保持増進について理解を高める。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	１学期	体つくり運動 水泳 球技	体ほぐしの運動と体力を高める運動を行い、自己の体力に応じたトレーニングを行う。 各泳法に適したフォームで泳ぐことができるようにする。各自の能力に合った目標タイムを設定し、記録向上に向けた練習を進める。 ラケットの握り方から基本の技術を習得し、仲間と共に楽しく、安全にゲームができるようにする。	ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ
	２学期	陸上競技 器械運動	短距離走及び長距離走をトレーニングしていき、新体力テストでの記録向上を目指す。 近年のこどもは柔軟性が低いので、柔軟性を高めていくことを目指す。接転系の技を正しい姿勢でできるようにする。	新体力テスト ﾏｯﾄ運動
		運動やスポーツの魅力と学び方 心身の発達と心の健康	スポーツの文化的価値を理解し、各種目に必要な知識を習得し、スポーツの教養を深める。	運動やスポーツの必要性と楽しさ
	３学期	球技	各種目のルールを知り、ゴール型やネット型の特性を理解し、シュートやパスの正しい技術を身につける。	ｻｯｶｰ
		ダンス	曲に合わせて、恥ずかしがらずにのびのびと自己を表現できるようにする。	創作ダンス
		武道	武道の特性を理解させ、姿勢や組み方を中心に、安全を考えて練習する。	柔道

教　科　　芸　術　　科　目　　音　楽

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="2">音楽</td><td>単位数</td><td>１単位</td><td>履修形態</td><td>必修　・　選択</td></tr>
<tr><td>履修学年</td><td colspan="2">中学１年</td><td>コース</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="3">教育芸術社</td><td>副教材</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="6">歌唱、器楽を通して様々な音楽に親しみ、自分なりの思いをもって表現したり、鑑賞や楽典を通して音楽の基礎的な知識を身につける。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">授業内容
および
到達目標</td><td></td><td>単元</td><td colspan="2">目標</td><td colspan="2">教材</td></tr>
<tr><td>１
学
期</td><td>イメージと音楽とのかかわりを感じ取ろう

音楽の特徴から情景を想像しよう

日本の民謡</td><td colspan="2">イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。イメージをもとに、構成を工夫して音楽をつくろう。

ソネットを手掛かりに、曲想の変化を感じ取ろう。

人々の暮らしから生まれた日本の民謡に親しみ、そのよさを味わおう。日本の音階を使って旋律をつくろう。</td><td colspan="2">映画「ジョーズ」から“ジョーズのテーマ”

春―第１楽章―

日本の民謡
ソーラン節</td></tr>
<tr><td>２
学
期</td><td>仲間とともに、表情豊かに合唱しよう

詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう

諸民族の音楽

曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう</td><td colspan="2">歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。

詩の内容と曲想との関わりを感じ取ろう。

各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。

リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。</td><td colspan="2">合唱曲

魔王

ウクレレ
サモア島の歌
リコーダー</td></tr>
<tr><td>３
学
期</td><td>仲間とともに、表情豊かに合唱しよう</td><td colspan="2">歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。</td><td colspan="2">合唱曲</td></tr>
</table>

教科　美術

授業科目	美　術　2･3下		単位数	1単位	履修形態	必修
履修学年	中　学　1　年		コース		
教科書	光村図書　美術1			副教材	
授業概要	中学1年生では、美術における基本的な知識・技能などを高める作品作りをしていきます。				
授業内容および到達目標		単　元	目　　標		教　　材
	前期	①　友達を描く（絵画）	①　人物画の構図や表情を学ぶ。 ②　明暗を色で表現する。 ③　色の感情を学習する。		エンピツ 画用紙 水彩絵の具
		②　ピーマンをつくる（彫塑）	①ピーマンの微妙な凹凸を触覚で表現する。 ②粘土の特徴を取得する。		粘土 エンピツ
	後期	①文字のスペーシング ②色の三要素を学ぶ（デザイン）	①　文字と文字との間の空間を学ぶ。 ②　明度・色相・彩度を学ぶ。 ③　色の組み合わせの効果を学ぶ。		版画用紙 油性インク
		③　だいだらぼっち（木版画）	①物語を読んで、版画の場面設定をする。 ②凸版の特徴を生かした白黒の世界をつくる。 ③さまざまな彫刻刀の彫後を生かす。		版画用紙 水性インク バレン

教　科　　外国語　　科　目　英語

授業科目	外国語	単位数	６単位	履修形態	必修　・　選択
履修学年	中学１年	コース			
教科書	Here We Go！（光村図書）		副教材	プログレッシブ英和・和英辞典 ジョイフルワーク やさしく学ぶ英語リピートプリント中１ やさしく学ぶ英語リピートプリント中２	
授業概要	①英語の基礎を身につける(アルファベット、SV（C)、否定文、Yes/No 疑問文、疑問詞を使った疑問文など) ②品詞について理解をし、正しい語順で英語を書いたり、言ったりすることができる。 ③可算名詞不可算名詞や冠詞など英語の言葉の仕組みを理解する ④辞書の使い方を身につける。 ⑤否定文、疑問文への書き換え、受け答えができる。 ⑥感情をこめて音読をする ⑦自分のことや興味のある事について、簡単な語句や文を使って英語で話すことができる。 ⑧疑問詞を使った疑問文を作ることができる。 ⑨日常的な話題について事実や気持ちを整理して、まとまりのある文を書くことができる。 ⑩不規則動詞を覚える。 ⑪多読を楽しみながら、英語を英語で理解する習慣を身に付ける。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	一学期	Let's be Friend! Unit ①～Unit ③	英語の基礎を身につける。英語の基本的な文構造、人称代名詞を理解することができる。辞書を使える。 be 動詞と一般動詞の違いを理解し、使うことができる。三人称単数を理解することができる。	Here We Go（光村図書） 文法パターン練成 やさしく学ぶﾘﾋﾟｰﾄﾌﾟﾘﾝﾄ１、２ ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ英和・和英辞典
	二学期	Unit④～Unit ⑥ Step 英検対策	命令文と肯定文の違いを理解することができる。 疑問詞を覚え、使いこなすことができる。 不規則変化動詞を理解することができ、覚える。	
	三学期	Unit⑦～Unit⑧	助動詞を使うことができる。過去形、 受動態を理解することができる。身の回りのことや自分の好きなことについて英語で簡単に説明することができる。	

教　科　　技術家庭　　科　目　家庭

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="2">家庭</td><td>単位数</td><td>２単位</td><td>履修形態</td><td>必修・　選択</td></tr>
<tr><td>履修学年</td><td colspan="2">中１年</td><td>コース</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="2">「新しい技術・家庭　家庭分野」自立と共生を目指して　東京書籍</td><td>副教材</td><td colspan="3">「技術・家庭ノート（家庭分野）」正進社</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="6">生活を営む上で必要な衣食住についての知識や技術を身につけ、より良い生活を主体的に工夫し、生活の自立を図れるようにする。一年生では特に食生活に重点を置き、自分自身の食生活の見直し、栄養素についての知識を深め、基本的な調理技術の習得を目標とする。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">授業内容
および
到達目標</td><td></td><td>単　元</td><td colspan="2">目　　標</td><td colspan="2">教　材</td></tr>
<tr><td>1
学
期</td><td>私たちの衣生活と住生活</td><td colspan="2">人を取り巻く環境の中で衣生活と住生活について学び、生活の自立を目指すための学習を学ぶ。
被服実習（はっぴ作り）を通して、ミシンの適切な使い方を学び、生活にいかす力をつける。</td><td colspan="2">教科書
ノート
被服実習</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2
学
期</td><td>私たちの食生活
（食生活と栄養）</td><td colspan="2">生活の中で食事が果たす役割を理解する。
五大栄養素の主な特徴と働きを理解する。
中学生の成長の様子を理解し、栄養所要量を知る。</td><td colspan="2">教科書
ノート
食品調べ
調理実習</td></tr>
<tr><td>私たちの食生活
（献立作りと食品の選択）</td><td colspan="2">生鮮食品、加工食品の種類、旬とは何かを理解する。微生物の繁殖の条件がわかり、対策をとることができるようにする。
食品添加物について理解し、食生活に生かすことができる調理実習の計画を立て、安全に実習を行う。</td><td colspan="2">教科書
ノート
調理実習</td></tr>
<tr><td>3
学
期</td><td>私たちの食生活
（調理と食文化）</td><td colspan="2">現代の食生活に関わる課題を把握し、自分にできることを考える。
地産地消、旬について考える。
食生活に関わる問題について調べ学習をし、発表しあう。</td><td colspan="2">教科書
ノート
調理実習</td></tr>
</table>

教　科　　道徳　　科　目　　道徳

授業科目	道徳	単位数	１単位	履修形態	必修・選択
履修学年	中学１年	コース			
教科書	中学道徳　（光村図書）	副教材			
授業概要	学校教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実施意欲と態度などの道徳性を養う。 ①読み物教材への登場人物への自我関与が中心の学習 登場人物の判断や心情を自分との関わりで多面的・多角的に考えることなどを通して、道徳諸価値の理解を深める。 ②問題解決的な学習 問題解決的な学習を通して、道徳的な問題を多面的・多角的に考え、生徒一人一人が生きる上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	１学期	１道徳の授業を始めよう	・1 年間の道徳の学びの見通しを持つ。	教科書 ワークシート
		２自分で決めるって？	・自分の責任で物事の決定をしようとする判断力を高める。	
		３三百六十五×十四回分の「ありがとう」	・家族への愛情を持ち、家庭生活を充実させる心情を持つ。	
		４「養生訓」より	・心と体の健康に気を付けて生活しようとする実践意欲を持つ。	
		５夢を諦めない―「ねぶた師」北村麻子	・夢と希望をもって着実にやり抜こうとする実践意欲を高める。	
		６魚の涙	・差別や偏見のない社会を実現しようとする実践意欲を深める。	
		７私の話を聞いてね	・違いを認め合っていこうとする心情を高める。	
		８六十二枚の天気図	・疑問を探究し続けようとする実践意欲と態度を持つ。	
		９席を譲ったけれど	・他者に思いやりの心をもって接していこうとする心情を持つ。	
		10 みんなで成功させよう	・協力して集団生活を向上させようとする判断力を高める。	
		11 ひまわり	・自他の命を大切にしていこうとする心情を持つ。	
		12 裏庭での出来事	・自ら考え、行動したことに責任を持つ。	
	２学期	13 父の言葉	・思いやりのある行動をしていこうとする実践意欲を持つ。	教科書 ワークシート
		14 学習机	・時と場に応じた行動をとろうとする心情を高める。	
		15 言葉の向こうに	・他者の思いや立場を考えて行動する意欲をもつ。	
		16 紙芝居	・自ら協力しようとする実践意欲と態度を持つ。	
		17 私が働く理由	・働く意義を考え、充実した働き方をする意欲を高める。	
		18 仏の銀蔵	・法や決まりを守って生活しようとする心情を持つ。	
		19 なおしもん	・伝統と文化を大切にしていこうとする意欲を高める。	
		20 捨てられた悲しみ	・生き物の命を大切にしていこうとする心情を深める。	

		21「ソーセージ」の悲しい最後 22 日本のお米 23 異文化の人々と共に生きる 24 撮れなかった一枚の写真 25 親友	・自然を愛護しようとするための判断力を高める。 ・伝統的な農業や文化を引き継ぐために、自分にできることをしていく意欲を持つ。 ・異文化を尊重し、理解し合おうとする判断力を持つ。 ・自分らしく生きていこうとする心情を高める。 ・友達を大切にしていこうとする心情を高める。	
	3 学 期	26 銀色のシャープペン 27 やっぱり樹里は 28 カメは自分を知っていた 29 命の木 30 エルマおばあさんからの「最後の贈り物」 31 道徳の学びを振り返ろう 32 いちばん高い値段の絵 33 雨の日の昇降口 34 初めての伴奏 35 橋の上のおおかみ	・心の弱さを乗り越えて生きていく心情を深める。 ・よりよい集団や社会を形成する意欲や態度を持つ。 ・向上心を持ち、自分の良さを伸ばしていく心情を高める。 ・自然などの美しさや人の力を超えたものに心を動かされることを大切にしようとする心情を深める。 ・命を大切に生きていこうとする心情を深める。 ・1 年間の道徳で学んだことをいかしていこうとする意欲を高める。 ・友人と信頼関係を築いていこうとする心情を持つ。 ・公徳心をもって生活しようとする意欲を高める。 ・より良い学校生活を自ら作っていく意欲を高める。 ・相手の立場に立って行動しようとする心情を高める。	教科書 ワークシート